

市民グループとのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和6年5月29日（水）午後15時00分～午後16時00分
グループ名	交野 心の病と共に生きる市民の会 TEAM
場 所	ゆうゆうセンター2階 体験学習室
参加人数	8人

テーマ1 コミュニティーバスについて

趣 旨（市民グループ）

- 心の病と共に生きる市民の会は、元々交野市内で走っていた、ゆうゆうバスの利用者が多い団体である。バスが廃止された理由は様々あると思うが、代わりにもっと公共施設や介護施設などといった広い範囲を走るコミュニティーバスを走らせてほしい。今後の市の展望が知りたい。

市 長

- 私はゆうゆうバスを廃止したことは間違いであったと思っている。京阪バスからゆうゆうバスの廃止を依頼されていたことは事実であるが、廃止をして京阪バスが路線を増やすことなどはない。
- 京阪バスの肩を持つわけではないが、ゆうゆうバスと路線が重複していたことは確かである。しかし、コロナ、2024年問題などもあり、路線バスの便数は減っており、路線の見直しもされているため、ゆうゆうバスを廃止するメリットは無かった。
- コロナ禍に、京阪バスの乗客が一時期に半分くらいになった。その際、交野市に京阪バスから財政支援を求められたことから、市は年間2,000万円を支払っている。市は令和6年度まで支援の約束をしており、その期間中は京阪のバス路線は残ることになる。
- 以前は、駅の近くはワゴン車を走らせないという言い方をしていた。しかし、駅の近くでも乗る方もおり、誰も困らないため、その要件は無くした。そのため、現在は河内磐船駅を出たワゴン車については森南も停まっている。また、昔であれば津田駅に近いという理由で停まらなかった東倉治も停めるようにしている。
- 今年の夏から、このワゴン車とは別に、タクシー会社と協力し、交野市駅から別のワゴン車を私部西の麒麟堂と万代、郡津駅、交野病院、幾野周辺に走らせる予定。名称はまだ決定していないが、国からの補助が3分の2出る。このワゴン車を走らせることにより、麒麟堂や万代も停車するため、イズミヤが無くなったことによる、商業施設への交通手段の不足問題も解決する。しかし、有償である。京阪バスが230円の運賃であるため、それより安くはできない。現在、運賃は300円で考えており、障がいのある方などについては半額にする予定。
- 令和7年度以降の外出支援をどうするのかについては、京阪バスと協議をしている。
- 有償にはするといったが、市は現在も金銭の外出支援も実施をしており、概ね70歳以上の方に対して4,600円の外出行支援を行っている。本年度からはタクシーチケットも選択できるようにしている。当然、従来のバスチケットも選択可能であり、ICOCAなどの電子決済で電車に乗った部分の4,600円も選択することが可能である。
- 今後については支援額を増やすというよりは、京阪バスの路線箇所を市がどのようにカバーでき

るかであると思っている。星田方面のバスは、フレンドタウンが京阪のものであり、そこに停まる関係上、河内磐船駅には停まらない、そうすると星田の方は、どのようにしてゆうゆうセンターにいけばいいのか、という声も聞いているため、今後はもう少し柔軟に対応できるとしている。

- 私としては、高齢者や障がい者だけでなく、だれでも乗れるバスが良いと思っている。運賃はいただくが、ビジネスではないため、採算は取れなくても仕方がないと思っている。

意見

- 以前はゆうゆうバスに乗れば誰かが乗っていたため、人と話す機会もあったが、現在はそれが無くなり、地域との繋がりが無くなった。歩く距離も短くなり、腰が曲がる人もいる。また、いきいきランドのプールにも行きにくくなった。そのため、京阪バスで行くことになるが、本数が2時間に1本しかない。そうすると、ガイドの時間も限られているため、諦めざるを得ない。障がい者の楽しみも無くなり、人権侵害である。ゆうゆうバス廃止が失敗だと言ってもらってすっきりした。しかし、梅が枝を走るワゴン車の運賃300円は高すぎる。京阪バスと同じ230円であれば仕方ないと思うが、せめて同額で検討してほしい。

→〔市長〕ゆうゆうバスが無くなり、様々なところに行けなくなったのは確かである。交野市の特徴として、人口が約7万7千人だが、駅が6か所もある。人口の割に駅が多い。公共施設も分散している。もし、河内磐船のところすべて集まっていれば便利であった。しかし、バス路線は利益のために、駅までしか行かないような路線形態にどうしてもなってしまう。そのため、交野のような分散型で、かつ駅がたくさんある市であると、利便性は下がる。頑張れば駅まで歩いて行けてしまうため、バスの利用者も少なく、採算は取れない。そこを解決しようとなると、市でバス等を走らせるしかないと思っている。

運賃については、本来230円にすべきだと思うが、おつりの関係で端数が出ないようにする必要があった。切り下げれば、200円になり京阪よりも安くなるため、仕方なく切り上げて300円にした。令和7年度以降にそこについても見直しはしたいと思っている。

市としては、電子決済を導入し課題の解決はしたいと思っている。また、京阪バスのバスチケットを市で発行しているため、それを使用出来る対応も考えている。そうなれば、230円のチケットを20枚購入しそれで乗車可能となる。有償にはなるが負担軽減はしたいと思っている。

- 両替機を置くことはできないのか。

→〔市長〕両替機は高額である。

- ゆうゆうセンターなどにバスのチケット販売コーナーを設ければ、課題解決に繋がると思う。

しかし300円は高い。京阪のバスチケットのことが出たが、市のワゴン車は京阪のバスチケットでも乗車可能なのか。

→〔市長〕可能である。運賃については、京阪バスに相当気を使っている。京阪も200円にしてくれれば楽であったが、とりあえず一旦は300円にした。令和7年度以降には意見を踏まえた、料金の見直しはしたいと思っている。

時代的にも、高齢者の方もICOCA等の電子決済を所有していただき、公共機関などでチャージをしてほしい。しかし、それに対応出来ない方については、運転手にお釣りを持たせて対応する。

- 松塚や郡津を走るバスを試行されるが、その路線だけだとメリットが感じられない。市民側から

すると循環バスを作ってほしい。さらに運賃も高い。今回の試行で利用率が低ければ、また変わる可能性もある。今回の試行だけで市民の意向だと図ってもらわないように、今後も市長には考えていってほしい。

公共交通の会議の議事録を見ても、みんなが満足するのか疑問がある。また、市役所も通らないため、不十分な試行であるとも思う。今回の試行が失敗しても、市が行っていかようとしているバスは継続していいほしい。一方で我々もバスに乗ろうとする姿勢は大事だと思う。

- [市長] 市役所北側の郵便局のところにバス停がある関係上、走らせることが出来ない。今回、郡津・幾野にワゴン車を走らせることにより、市の直営ワゴン車は2つになる。一つは寺・神宮所のところで実際、稼働時間は40分しかない。そのため延伸も考えているが、青山・向井田で京阪バスの路線が存在するため延伸はできない。逆に言うと、京阪バスが撤廃すれば延伸できる。
- 先ほど障がい者については、割引と言っていたが、具体的にどのくらい割引されるのか。また、高齢者はどうなのか。
- [市長] 障がい者は半額。高齢者はそのままの金額とする予定。
- イズミヤは高齢者の利用率が高かった。万代までバスを走らせるとのことなので、やはり高齢者も割引をしてほしい。
- [市長] 子供の割引はわかる。しかし、高齢者というだけで半額は厳しい。最終的に200円の運賃だとは思っているが、収益は50パーセントである。その状態で割引は厳しい。実際、寺・東倉治にワゴン車を走らせているが、乗っている人は3人程度である。また、現在、東倉治のワゴン車は無償であるが、今後、松塚などを走らせるバスを有償にすると公平性に欠けるため、すべて有償とする予定。
- [副市長] 高齢者の方でもバスチケットは使える。
- 郡津から市役所まで行くのに、往復で600円かかる。また、Luckyにもタクシーがいつも数台停まっており、高齢者の人が良く乗り込む。買い物へ行くのに、お金が発生するのも変な話である。ネット通販もあるが、高齢者は使用が困難。せめて非課税世帯だけでも割引の幅を利かせてほしい。生活保護の人がバスを利用するとどうなるのか。
- [市長] 交野市内に生活保護の方は800名程度いる。しかし、バス利用金の負担は求める。また、近年非課税世帯にお金を振り込むことはしているが、やはり高齢者も含めるとかなりの世帯数になり、そこを免除すると事務的にも財政的にもかなり厳しい。
 - 1日何本走るのか。

→ [市長] 1時間に1本で8本走らせる予定。9時から17時まで運行する。
関係する地域で説明会も開く予定である。

→ [副市長] 明日、地域公共交通会議があるため、意見をいただく予定である。

テーマ2 障がい者への交野市としての施策について

趣旨（市民グループ）

- 我々は主に精神の障がい者の方について共に考える団体である。しかし、精神病の施策というのは国全体でも進んでいない。精神保健福祉手帳は身体者障がい者手帳と違い、割引がないところもある。すべての市の施策を把握しているわけではないが、市長の考え等を教えていただきたい。

市長

- 精神障がい者の方も、守るべきであると思っている。しかし、経済負担の観点からいうと、公平性が重要であり、他の割引のない方に対してどのように納得していただくか問題がある。また、本当に割引が必要かどうか、議論がある。様々なケースに合わせて判断する必要があると思う。しかし私が不合理だと思っているのは、精神障がい者の施設を建てるときに一部の地域で反対されることについては疑問がある。

意見

- ゆうゆうバスが走っていた時代に、精神障がい者の手帳を持っていても、ぱっと見て判断され乗車が出来ないときがあったと聞いている。確かに市長が言うように、判断は難しいが、精神疾患で動けないことがどれだけしんどいか理解してほしい。我々も、みなさんと一緒に生活をしたい。隔離もされたくない。
- 心の病について周知するために、来年度以降の市役所の新採研修でテーマに取り上げる等、学ぶ機会を作してほしい。